

れんごう

2012. 5. 16
第 5 号 通算 175 号
日本労働組合総連合会新潟県連合会
県央地域協議会
(連合県央地協)
〒955-0044 三条市田島2丁目22-36
Tel 0256-32-6363 Fax0256-32-6490

83th
MayDay

第83回メーデー 5/1 県央3地区で開催



第83回メーデーを県央3地区で実施しました。平日開催となったことなどもあり、参加者数は三会場とも大きく減少しましたが、五月晴れの天候に恵まれ、2年ぶりにデモ行進を行いました。

『 三条地区メーデー 』

約700人が参加し、9:00に三条市総合体育館を出発し、市内約2.2キロをデモ行進。「働く者の権利を守ろう!」「パート・非正規社員の処遇改善」「労基法を守れ!」とシュプレヒコール。第二部の式典で、佐藤実行委員長は「私たちの願いは、安心して働き続け、家族を支え、地域の暮らしを守り、貢献すること!」「労働組合は今こそ必要だ。自信と誇りを持って運動を進めよう!」と訴えました。来賓の國定三条市長は、連合の労働行政等へ関わり、昨年7月末の豪雨災害ボランティアの御礼、地域の活性化についてさらなる連携を要請するなどの祝辞を述べられました。その後、民主党菊田代議士、社民党三条支部協議会有坂代表、労働金庫、総合生協から祝辞を受けました。



第三部のアトラクションでは、元気溢れる「いからし工房」のみなさんの太鼓演奏を鑑賞し、プラカードコンクール、お楽しみ抽選会を実施しました。また、授産施設「ともしび工房」「いからし工房」の即売会を実施。併せて、東日本被災者支援募金では、21,281円の集約をさせていただきました。会場前で行った献血は32名でした。ご支援、ご協力ありがとうございました。

『 西蒲・燕地区メーデー 』

約280人が参加し、燕市吉田産業会館で開催。主催者を代表し、海津実行委員長は「働く者の権利を守ろう!」「戦争や紛争のない真の世界な平和をつくらう!」この2つはメーデーの普遍の想いであり、労働組合がしっかりとその責任と役割を果たして行こうと挨拶しました。来賓の鈴木燕市長は、連合に対し、東日本大震災への募金や支援への謝意を表し「経済が大きく変化している。地場産業発展のため、みんなで知恵だしをしてほしい。行政を使ってほしい」と述べました。その後、本多弥彦副市長、大岩燕市議会議長のあいさつ。鷲尾衆議院議員は、民主党政権の現状や不安定な国政の状況などを詫び、いっそうの理解と支援をと挨拶しました。つづいて社民党県連の竹内新潟市議や労働金庫、総合生協から祝辞を受け、「団結ガンバロー」で締めくくりました。抽選会で大いに盛り上がり、10時半より、好天で気温上昇の中、JR吉田駅商店街通りを回る約3.5キロをデモ行進。東日本被災者支援募金は、26,906円でした。大変ありがとうございました。

『 加茂地区メーデー 』

約180人が参加し、加茂市民体育館で開催しました。主催者を代表し、中山実行委員長は「非正規社員は全体の三人に一人となった。私たちも正面から取り組まなければならない課題だ。労働者全体の底上げをはかろう!」と訴えました。

来賓の小池加茂市長は「極右政党化した自民党には任せられない。民主党にしっかりしてもらい、地域経済の回復施策をはかるべきだ」と持論を述べ、菊田衆議院議員は「民主党政権が期待に答えていない。叱責を受け止め、パートや社会保障問題は何としても前進させる」と挨拶し、社民党県連や共産党の代表から「脱原発へのメッセージ」や「非正規と低賃金の問題」など挨拶を受けました。

第2部で骨髄バンクの普及などに携わるNPO法人「命のアサガオにいがた」の高野由美子さんを招き、急性リンパ性白血病を発症した長男の敏行さんの闘病や、骨髄移植の運動などについての講演を聞きました。



「アジア・アフリカ救援米」田植えを終える

5月13日(日) 9:30～アジア・アフリカ救援米田植をおこないました(子どもさんを含め75名の参加)。前日までは寒い日が続きましたが太陽も顔を出し、田んぼに足を取られて泥んこになった子供たちの歓声の中、1時間程度で田んぼ1枚の田植えを終えました。上林公民館に移動し、餅つき大会、アニメ上映、ビンゴゲームで楽しみました。

※世界ではまだ食糧不足があることを考えながら、つきたてのお餅とおいしい豚汁でお腹をいっぱいにしました。



『県央ライフサポートセンター第2回総会』開催

5月9日(水) 10:15～「県央ライフサポートセンター第2回総会」を開催しました。

昨年の4月27日に、県内第12番目のライフサポートセンターとして、県央エリアの「働く者・生活者」の方々の拠り所を目指し、労働相談だけでなく「生活なんでも相談室」として活動してきました。相談件数は92件(2011.4.27～2012.3末 11ヶ月間)で、内容は労働相談だけでなく、家庭問題(家族関係、相続、離婚など)や多重債務、生活保護についてなど、深刻な内容も多く寄せられています。労金や生協の他、行政の窓口、弁護士、司法書士などとも連携し、相談者の心配事の軽減や支援にあたっています。

地域の人たちに「県央ライフサポートセンター」を知ってもらう周知活動が重要です。三条新聞への広告や、行政や関係機関の窓口(支所、ハローワーク、社協など含む)へのチラシの配置などを行っています。併せて、今年度も2回ほど連合の構成組織にお願いして「チラシのポスティング」を予定しています。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。



『県央地区労働者福祉協議会(県央地区労福協)設立総会』開催

5月9日(水) 11:00～「県央地区労働者福祉協議会設立総会」を開催しました。県内にはすでに9ヵ所で設立があり(新潟・長岡・小千谷・北魚沼・南魚沼・十日町・柏崎・上越・糸魚川)勤労者の生活安定と経済的・社会的地位の向上に寄与することを目的として活動をしています。

県央地区では、諸々の事情によりこれまで地区労福協の設立は無く、新春賀詞交歓会など必要に応じて連合・労金・生協で協力して運営をしてきた経過があります。県内各地で設立された「ライフサポートセンター事業」を軸とした地域展開を行うためにも、県労福協と一体となった各地区労福協の再整備はかることが求められ、県央地区にも「県央地区労福協」を立ち上げる事と致しました。総会の中で役員体制については、海津副議長を会長に、その他連合、労金、生協で担当することが確認されました。

県央LSC 相談内容状況(2011.4.27～2012.3.31)

相談内容は下記の通り、労働相談だけでなく、家庭問題(家族関係、相続、離婚など)多重債務や融資など「生活何でも相談」です。行政や関係機関とも連携しておりますが、内容により、相談者の了解のもと専門家への紹介も行っています。

月別

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2件	3件	9件	14件	9件	4件	14件	9件	8件	9件	11件	92件
男	1件	1件	3件	5件	6件	3件	7件	6件	4件	6件	6件	48件
女	1件	2件	6件	9件	3件	1件	7件	3件	4件	3件	5件	44件

*件数は新規相談者のみで、継続中の再来所相談者件数は含まず(多数あり)。

年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
男	2件	7件	9件	13件	11件	4件	—	1件	1件	48件
女	1件	5件	13件	14件	5件	2件	1件	—	3件	44件
合計	3件	12件	22件	27件	16件	6件	1件	1件	4件	92件
比率	3%	13%	24%	29%	17%	7%	1%	1%	5%	100%

地域別

	三条	燕	加茂	田上	弥彦	その他	不明	合計
	48件	18件	6件	3件	—	15件	2件	92件
	52%	20%	7%	3%	—	16%	2%	100%

相談種類

医療・保険	心の悩み	人間関係	家庭問題	労働問題	融資	クレサラ	年金	法律
2件	6件	5件	14件	19件	9件	11件	3件	8件
2%	7%	5%	16%	21%	10%	12%	3%	9%
就職	資格取得	税金	福祉・介護	借地借家	その他	合計		
5件	1件	2件	3件	2件	2件	92件		
5%	1%	2%	3%	2%	2%	100%		

相談方法

	電話	面談	合計
相談方法	53件	39件	92件
割合	58%	42%	100%

